

令和3年度(令和2年度実績事業)

下田市教育委員会自己点検・評価報告書

令和3年11月

下田市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
教育委員会点検・評価の概要	
1 点検・評価の趣旨	2
2 教育委員会会議の開催状況	3
3 教育委員会会議の審議状況	3～5
4 教育委員会会議以外の活動状況	5
5 施策ごとの取組状況	5～9
点検・評価シート	10～48
6 有識者委員会	49
7 有識者委員会の意見	49～54
8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱	55～56

## はじめに

下田市教育委員会の自己点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業について1年間の活動状況の課題や取組の方向性を、自ら点検及び評価を行い、有識者による外部の知見を入れることで、今後の効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

令和2年度は、平成27年12月に策定された下田市教育大綱の計画期間の最終年度であり、大綱に設定された目標を達成するために様々な施策に取り組んでまいりました。

この間も少子高齢化、技術革新等社会を取り巻く環境は変化を続け、さらに新型コロナウイルスの影響で、幼稚園、小・中学校の一斉休校や教育施設の休館等教育を取り巻く環境には大きな変化があり、事業の中止を余儀なくされる状況もありました。

本報告書の作成に当たっては、点検・評価の客観性を確保するために、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会から点検・評価の内容及び手法に対するご意見をお聞きしました。

この点検・評価の結果を今後の施策に十分に反映させることで、本市の教育施策が適切、円滑に推進できるよう取り組みの強化を図ってまいります。

## 下 田 市 教 育 委 員 会

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 下田市教育委員会教育委員名簿

（令和2年度当初 在籍委員）

職 名	氏 名	任 期
委員(教育長職務代理者)	田 中 とし子	H29. 3. 15～R6. 3. 14
委 員	渡 邊 亮 治	H26. 12. 13～R4. 12. 12
委 員	西 堀 政 幸	H28. 12. 15～R6. 12. 14
委 員	天 野 美 香	H25. 12. 14～R3. 12. 13
教 育 長	佐々木 文 夫	H27. 7. 21～R3. 7. 20

# 教育委員会点検・評価の概要

## 1 点検・評価の趣旨

### (1) 点検・評価の目的

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地教育法」という。）第26条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、市民に公表しています。

この自己点検・評価は、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としています。

### (2) 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、令和2年度に実施した事務事業について、下田市教育大綱で掲げる本市教育の基本理念である『開国のまちから 夢をつなぐ「未来の人づくり」「自ら学ぶ人づくり』』を念頭におきながら、6つの目標「自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。」「「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。」「家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。」「いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。」「歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。」「市民がいつでも気軽にスポーツできるまちづくりを目指します。」に分類して、点検・評価の対象としました。

### (3) 点検・評価の方法

点検・評価については、施策、事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討した上で、今後の対応方向を記述しました。

事業は、点検・評価シートに基づき点検・評価を行い、教育委員の評価として

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| A | 「十分成果が上がって良好に行われている。」 |
| B | 「成果が上がって概ね良好に行われている。」 |
| C | 「成果が十分に上がっておらず改善が必要。」 |

のいずれかの評価とその評価に基づくコメントを記載しました。

また、点検・評価の客観性の確保のため、教育に関し学識経験を有する方等外部の意見をお聞きするため、外部評価委員会を開催しました。

## 2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、毎月 20 日以降を目処に月 1 回の定例会を開催する計画を立て、必要に応じて臨時会を開催しています。

令和 2 年度は、14 回（定例会 12 回、臨時会 2 回）会議を開催しました。

定例会	臨時会	合計
12 回	2 回	14 回

## 3 教育委員会会議の審議状況

地教行法第 21 条及び下田市教育委員会会議規則(平成 27 年下田市教育委員会規則第 2 号)に基づき、令和 2 年度は 53 件の議案を審議しました。

区分	番号	議案名
4 月定例会 4 月 21 日(火)	報第 2 号	専決処分の承認を求めることについて (社会教育指導員の任命について)
	報第 3 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館長の任命について)
	報第 4 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市スポーツ推進委員の任命について)
	報第 5 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年補導センター補導員の委嘱について)
	報第 6 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員の委嘱について)
	報第 7 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館運営審議会委員の委嘱について)
	議第 15 号	下田市英語検定受検推進補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定 について
5 月臨時会 5 月 14 日(木)	議第 16 号	下田市立学校の再開について
5 月定例会 5 月 26 日(火)	報第 8 号	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度下田市一般会計補正予算第 9 号：教育委員会)
	報第 9 号	専決処分の承認を求めることについて (令和 2 年度下田市一般会計補正予算第 2 号：教育委員会)
	報第 10 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立学校統合準備委員会委員の委嘱について)
	議第 17 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和 2 年度下田市一般会計補正予算第 3 号：教育委員会)
6 月定例会 6 月 23 日(火)	議第 18 号	令和 2 年度下田市立学校の学期の変更について
	議第 19 号	下田市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について
	議第 20 号	下田市特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する要綱の制定 について
	議第 21 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について

区 分	番 号	議 案 名
7月定例会 7月29日(水)	報第11号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(建築)請負契約の締結について)
	報第12号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(機械設備)請負契約の締結について)
	報第13号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(電気設備)請負契約の締結について)
	報第14号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度下田市一般会計補正予算第5号:教育委員会)
	議第22号	令和3~6年度使用の中学校用の教科用図書の採択について
	議第23号	下田市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について
議第24号	下田市修学旅行中止に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の制定について	
8月定例会 8月24日(月)	議第25号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度下田市一般会計補正予算第8号:教育委員会)
9月定例会 9月24日(木)	報第15号	専決処分の承認を求めることについて (教育用タブレット端末購入契約の締結について)
	報第16号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員の解職について)
	報第17号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館運営審議会委員の解職について)
10月定例会 10月27日(火)	—	—
11月定例会 11月24日(火)	報第18号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度下田市一般会計補正予算第9号:教育委員会)
	議第26号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市民文化会館指定管理者の指定について)
	議第27号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市民スポーツセンター指定管理者の指定について)
	議第28号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市立公民館設置管理条例の一部を改正する条例の制定について)
	議第29号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度下田市一般会計補正予算第9号:教育委員会)
	議第30号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
12月臨時会 12月17日(木)	—	—

区 分	番 号	議 案 名
12月定例会 12月25日(金)	議第31号 議第32号	下田市教育大綱(案)の策定について 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
1月定例会 1月18日(月)	—	—
2月定例会 2月24日(木)	議第1号 議第2号 議第3号 議第4号 議第5号 議第6号 議第7号 議第8号 議第9号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(建築)請負契約の締結についての一部変更について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(機械設備)請負契約の締結についての一部変更について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度(債務負担)下田中学校整備工事(電気設備)請負契約の締結についての一部変更について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (市有財産(建物)の譲与について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度下田市一般会計補正予算第14号:教育委員会) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和3年度下田市一般会計予算:教育委員会) 下田市吉田松陰寓寄処管理規則の一部を改正する規則の制定について 静岡県費負担教職員人事の内申について 下田市修学旅行中止に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
3月定例会 3月22日(月)	議第10号 議第11号 議第12号 議第13号 議第14号 議第15号 議第16号 議第17号 議第18号	下田市教育委員会事務局職員の人事異動について 下田市奨学振興基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 下田市立学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 組織機構の見直しに伴う関係要綱等の整備に関する要綱の制定について 下田市英語検定受検推進補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について 下田市立学校処務規程の一部を改正する規程の制定について 下田市学校教育の基本方針について 下田市立学校統合準備委員会からの第三次答申に伴う教育委員会の方針決定について 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

①基本方針 1件 ②議案の原案の決定 20件 ③規則及び規程等の制定又は改廃 12件  
④人事 11件 ⑤準要保護児童生徒の認定 4件 ⑥その他 5件 合計 53件

#### 4 教育委員会会議以外の活動状況

##### (1) 教育委員会点検評価有識者委員会

開催日	場所
10月27日(火)	下田市立中央公民館 大会議室

##### (2) 下田市総合教育会議

開催日	場所
11月18日(木)	下田市役所 大会議室
12月25日(金)	下田市立中央公民館 大会議室
3月5日(金)	下田市立中央公民館 大会議室

#### 5 施策ごとの取組状況

教育委員会では、それぞれの基本目標を実現させるための施策の項目に対応する事業について点検・評価シートを作成し内部で点検・評価を行い、その後外部評価をいただき、意見をまとめました。

目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。

目標実現のための施策		事業等	Page
「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	確かな学力を育成する授業の推進	市指定研究校への支援 市研修主任研の開催 校内研修への支援	10
	生徒指導が機能する授業の推進	市生徒指導研の開催 授業づくり支援 市初任研の開催	11
	特別支援教育の充実	児童・生徒適応指導事業 特別支援教育体制推進事業	12
「豊かな感性」を育む教育活動の推進	下田の歴史と文化、自然を学ぶ学習の推進	体験プログラム事業	13
	コミュニケーション能力の素地を養う英語教育の推進	中学校ALT(外国人講師等) 小学校外国語活動へ社会人活用 英語検定受検推進事業	14
	子ども一人ひとりの心に響く 道徳教育の充実	道徳教育の充実	15
	感性を磨き、豊かな心を育てる読書活動の充実	学校司書の配置 新刊図書の購入 学校図書館蔵書管理システム導入の検討	16

目標実現のための施策		事業等	Page
「開かれた学校づくり」の推進	内と外に開かれた信頼される学校づくりの推進	学校公開と学校評価による教育活動の改善 地域の人材活用	17
	関係機関との連携体制の構築と子どもを守る体制の強化	関係機関との連携 “チーム学校”の推進	18
		放課後児童対策事業	19
	幼保こども園・小・中・高の連携の強化	幼保こども園との連携と幼小の接続・小中連携	20
「安心・安全な環境づくり」の推進	自助、共助の力を育成する防災教育、安全教育の充実	地域と連携した防災・防犯教育	21
	人権意識を育む学校づくりの推進	不登校等対策連絡協議会 市いじめ問題対策連絡協議会 人権擁護委員による人権の花運動・学校訪問 全国中学生人権作文コンテストへの参加	22
教育施設・環境整備の推進	児童生徒のよりよい学びに向けた学校再編整備	中学校再編準備事業 中学校再編整備事業	23・24
	安心・安全な給食を提供する学校給食センターの運営	学校給食管理運営事業	25
	I C Tを活用した授業実践を行う体制の整備	賀茂地域校務支援事務共同化事業 奨学振興事業 小学校・中学校教育振興事業 学校情報通信環境整備事業(G I G Aスクール構想関連)	26・27
	既存学校施設整備	小学校・中学校管理事業	28

目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。

目標実現のための施策		事業等	Page
就学前教育の充実	幼保再編後の子育て支援の充実と地域との連携	公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業、民間保育所事業	29
		子育て支援事業	30
	教職員の資質と能力の向上に向けた研修の充実	園内研修の実施 園外研修への派遣	31
施設・環境整備の推進	認定こども園を核とした施設・環境整備	公立保育所管理運営事業 幼稚園管理事業	32

目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。

目標実現のための施策		事業等	Page
青少年活動の充実	地域活動への参加や地域との交流を深める機会の充実	青少年海の家管理運営事業 青少年健全育成事業	33
	文化や芸術、スポーツなどの青少年活動との連携		34
	家庭、地域、学校との連携を図った非行防止に向けた運動の推進	青少年健全育成事業	35

目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。

目標実現のための施策		事業等	Page
生涯学習活動の推進	市民のニーズに合った学習プログラムの提供	成人活動推進事業 公民館活動推進事業	36
	図書館ボランティアとの連携による図書館サービスの充実	図書館管理運営事業	37
	社会教育団体などの自主的学習活動の支援	社会教育団体などの自主的な学習活動の支援	38
学習施設の再編、整備	新たな図書館の建設	図書館協議会 下田市立図書館庁内検討委員会等	39
	地域の実情に見合った公民館の再編整備	公民館管理運営事業	40

目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。

目標実現のための施策		事業等	Page
文化施設の整備	市民文化会館などの施設の改修	市民文化会館管理運営事業	41
文化・芸術活動の活性化	文化事業や講座の開催 自主的な文化活動への支援	芸術文化振興事業	42
文化財の保存、継承と活用	国、県、市の指定文化財の保存と活用		43
	民俗芸能などの地域文化の継承	芸術文化振興事業	
	埋蔵文化財の保護・保全		
郷土資料の保存、継承と活用	郷土資料の保存や研究と市史編纂事業の実施	市史編さん事業	44
	郷土の文化財などの学習活動への支援		

目標6 市民がいつでも気軽にスポーツできるまちづくりを目指します。

目標実現のための施策		事業等	Page
施設の有効活用	学校施設の一般開放	保健体育総務事務	45
	利用者のニーズに応える施設整備	下田市民スポーツセンター管理運営事業 吉佐美運動公園管理運営事業	46
スポーツの振興	市民が気軽に参加できるスポーツイベントの開催	社会体育活動推進事業	47
	NPO法人などと連携した総合的なスポーツの振興		48

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	○確かな学力を育成する授業の推進	
事業等	市指定研究校への支援、市研修主任研の開催、校内研修への支援	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p><b>【市指定研究校への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年11月6日(金) 下田市教育研究会指定研究発表（下田小） 市内全教職員参加</li> </ul> <p><b>【市研修主任研の開催 年3回】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の市の重点と各校の校内研修について</li> <li>魅力ある授業づくりについての協議</li> <li>市指定研究発表のサポート（司会、記録等）</li> </ul> <p><b>【校内研修への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事による各小中学校の訪問と校内研修についての指導・助言</li> </ul>		
検 証	<p>下田市教育研究会指定研究発表では、下田小学校が3年間にわたる研究実践の成果を発表する予定であった。下田小学校は「自分ごととして考える道徳を目指して」を研究主題として、子どもたちが自分の考えを持ち、友達と自分の考えを語り合うことができる姿を目指し研修を進めた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発表会は次年度に持ち越しとなり、研修経過を市内研修主任者会において紙面にて確認した。</p> <p>市研修主任研では、子どもが主体的に学ぶ授業や学びの実感を積み重ねる授業を目指して、各校の研修主任が協議し、計画策定した。子どもの問いや問題解決的な学習を大切にした授業づくり、子どもの事実をもとに全員参加で進める研修の推進など、各校の校内研修の充実が図られた。また、第2回目には南伊豆町と合同で研修会を実施、静東教育事務所から指導主事を招聘し、学び手の思考を大切にした授業づくりについて研修を深めることができた。</p>		
今後の課題 方 向 性	<p>新型コロナウイルス感染症対策と子どもの主体的・対話的で深い学びの両立を目指した教育活動の実施方法についての研修を進める。</p>		
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	<p>各校において、熱心に授業改善の取り組みが進められている。今後も続いていくであろうコロナ禍において、感染症対策を講じながら、ICTを有効活用した個別最適な授業作りをしていくことが求められる。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	○生徒指導が機能する授業の推進	
事業等	市生徒指導研の開催、授業づくり支援、市初任研の開催	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【市生徒指導研修会の開催 年4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の生徒指導担当者による情報交換</li> <li>・子ども一人ひとりを理解し、成長を支える生徒指導の推進</li> <li>・いじめ・不登校対策連絡協議会を兼ねた情報交換</li> <li>・新中学校統合を見据えた生徒指導関係の協議</li> </ul> <p>【授業づくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による授業参観及び子ども理解を主眼においた事後研修会</li> <li>・学級づくりや人間関係づくりを基盤とした授業についての指導・助言</li> </ul> <p>【市初任者研修会 年3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級づくりを基盤とした授業についての指導・助言</li> <li>・先輩授業の参観をきっかけとした、学級集団づくりについての協議</li> </ul>
検 証	<p>市生徒指導研修会では、問題行動や不登校、いじめ、気になる児童生徒について情報交換するとともに、「いじめの積極的認知」と「早期組織的対応」の重要性について研修主任との共通理解を図った。また、不登校児等対策連絡協議会を通して、子どもの実態を的確にとらえ、日々の授業づくりに反映した。いじめ問題については、いじめ対策連絡協議会を実施したり、毎月県に提出する月例報告に市独自の用紙を取り入れたりするなど、“気になる子”についての情報共有に努めた。</p> <p>各校への授業づくり支援では、指導主事が訪問を行う際、「生徒指導が機能する授業」「一人ひとりを大切にしたい授業」を念頭に助言を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組んだ。</p> <p>市初任者研修会では、日頃の授業づくりや生徒指導上の諸問題について悩みを語り合い、よりよい解決策を探るとともに、先輩の授業を参観する中で、生徒指導が機能する授業や互いに支え合う学習集団づくりについて学んだ。</p>
今後の課題 方 向 性	<p>確かな子ども理解のもと、互いに支え合う学級づくりを基盤として、対話を中心としながら、多様な見方・考え方を受け止め、尊重する授業づくりを進める。</p>
教育委員会 評 価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コ メ ン ト	<p>様々な家庭環境や生育歴、発達障害等の背景を抱えた子どもたちが小中学校に通っている。そうした子どもたち一人ひとりを的確にとらえ、あたたかい雰囲気の中で安心して学ぶことができる授業づくりや学級づくりに努めたい。</p>

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	○特別支援教育の充実	
事 業 等	児童・生徒適応指導事業、特別支援教育体制推進事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【支援員等の効果的な配置：会計年度任用職員報酬 22,017 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員 19 名</li> </ul> <p>【市巡回相談等の実施：謝礼 409 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育相談員（臨床心理士）による巡回相談（年 15 回実施）</li> <li>・市就学相談委員会専門部会による幼保こども園の訪問</li> </ul> <p>【幼児ことばの教室及び適応指導教室の運営：会計年度任用職員報酬 2,715 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児ことばの教室指導員 1 名、適応指導教室指導員 3 名</li> </ul> <p>【特別支援教育就学奨励費：745 千円】</p>
検 証	<p>特別支援教育支援員19名の配置を行った。特別支援教育の充実を図ることで、発達に課題をもつ児童生徒への対応や学校生活の質の向上、学習活動の充実等、子ども一人ひとりの思いや保護者の願いに寄り添った教育活動に取り組んだ。各校発達障害のある児童生徒が増加傾向にあり、対応に苦慮している実情を鑑みると、個に応じた効果的な支援を進める上では、特別支援教育支援員の増員が必要である。また、市単独の予算措置により、特別支援教育相談員（臨床心理士）を中心とした巡回相談を年15回実施し、発達に課題をもつ幼児・児童・生徒への支援に取り組んだ。併せて、就学に向けて、市就学支援委員会専門部会による幼保こども園への訪問を実施し、新学齢児の実態把握と適切な支援を行った。</p> <p>幼児ことばの教室では、幼保こども園や市民保健課健康づくり係、市福祉事務所等と連携しながら該当保護者に助言を行い、就学前に適切な支援がなされるよう努めた。適応指導教室では、指導員3名の配置等を行い、学校生活に適応できず不登校傾向にある児童生徒に対して、適応状況の改善に取り組んだ。</p> <p>なお、通級教室（小学校で2学級）、特別支援学級（小中学校合わせて4学級）が開設されており、市の特別支援教育体制が整備されている。</p>
今後の課題 方 向 性	各校の実態に応じた支援員の配置をさらに進め、きめ細かな支援に取り組むとともに、早期からの特別支援教育体制を確立する。
教育委員会 評 価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コ メ ン ト	特別支援教育は、今後もさらに需要が高まり、対応が必要になる。市費による支援員等を適切に配置するとともに、効果的な支援の実現や特別支援の確立を進めたい。

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○下田の歴史と文化、自然を学ぶ学習の推進	
事業等	体験プログラム事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【体験プログラム事業補助金：2,945千円】		
	稲梓小	ウナギ漁、鮎友釣り、椎茸菌打ち体験、海の体験等	
	稲生沢小	ツリークライミング、バードウォッチング体験、陶芸教室等	
	白浜小	稲作体験、下田歴史巡り、ジオ学習、いちご狩り等	
	浜崎小	陶芸体験、天草砂ふり体験、ジオ学習、いちご狩り等	
	下田小	ジオサイト巡り、寝姿山探検、サスケハナ号乗船等	
	大賀茂小	稲作体験、みかん狩り、ジオサイト教育、パン作り体験等	
	朝日小	下田海中水族館見学、下田ロープウェイ乗車、防災食体験等	
	稲梓中	—	
	稲生沢中	下田ロープウェイ乗車、園芸体験	
	下田東中	未来の下田創造プロジェクトへ参加、ジオ学習、職場体験等	
	下田中	ドリームマップ講座、シーカヤック体験、大菊づくり等	
海洋アクティビティ (白小・浜小・東中)	下田海中水族館見学、シュノーケリング体験等		
検 証	地域の「人、もの、こと」との積極的なかかわり合いを大切にし、地域に根ざした多様な自然体験・社会体験活動に触れるため、体験プログラム事業を実施した。稲梓中学校を除く市内の小中学校で実施し、地域の体験を通じてたくさんの感動が生まれるとともに、児童生徒一人ひとりの豊かな感性を育むことにつながった。新型コロナウイルス感染症の影響により、限られた中での実施となったが、各校とも感染拡大防止に努め、工夫しながら事業を実施できた。また、海洋アクティビティとして、白浜小、浜崎小、下田東中をモデル校に指定し、下田の海に特化した体験学習を実施した。		
今後の課題 方向性	多様な地域活動に触れるための機会の増加と、伝える側の人材育成。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	下田市の恵まれた自然や歴史・文化を生かした体験学習を通じ、児童生徒の郷土を愛する心を育成するよう、より一層充実していきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○コミュニケーション能力の素地を養う英語教育の充実	
事業等	中学校ALT(外国人講師等)・小学校外国語活動へ社会人活用、英語検定受検推進事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【中学校ALT・小学校外国語活動社会人活用：5,009千円】 小中学校11校全てに指導助手（地域の社会人活用）及びALTを派遣配置。</p> <p>【英語検定受検推進事業：736千円】 児童31名、生徒238名に対し、英語検定受検料に対する補助金を交付。</p>		
検証	<p>中学校ALT・小学校外国語活動へ社会人活用については、専門性を活かした指導の充実を図るとともに、教員へのサポートを進め、新学習指導要領全面实施を見据えた小学校外国語活動や中学校英語科の授業の充実に取り組んだ。</p> <p>英語検定受検推進事業は、本年度よりこれまでの中学校生徒に加え、小学校児童にも補助対象を拡大、英語検定受験費用を全額補助するとともに英語学習の機会を増やし、英語検定を通じて英語力を伸ばす一助となった。</p> <p>英語力向上プロジェクト事業においては、玉川大学と連携し、子どもたちの英語に対する興味関心を高めることを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施することができなかった。</p>		
今後の課題 方向性	<p>コロナウイルス感染状況を見定めながら、玉川大学との連携を継続し、英語教育の充実と国際感覚豊かな子どもの育成を進めたい。また本年度から英語検定受検補助金制度の拡充を行い、受検者数の増加など一定の効果があった。</p> <p>更なる英語教育の充実を図っていきたい。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	英語教育の充実やグローバル人材育成の重要性はますます高くなっている。今後も具体的な取組をより一層充実させていきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○子ども一人ひとりの心に響く 道徳教育の推進	
事業等	道徳教育の充実	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【道徳教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領全面实施を見据えた、「考え、議論する道徳」の授業づくりの推進</li> <li>・教育活動全体を通した豊かな心を育む道徳指導の推進</li> </ul>		
検証	<p>学習指導要領の改定により実施となった「特別の教科道徳」について推進するための、具体的な指導方法や評価に関する情報を提供するとともに、各校で研修に取り組んだ。</p> <p>特に下田小学校では下田市教育研究発表会に向けて「考え・議論する道徳」について3年目の研修を行い、市研修主任者研修会において紙上で経過報告を行った。また、下田中学校においても研修の窓口に「道徳」を据え、模擬授業などを実施しながら、全職員で「自分事」として考える道徳授業についての理解を深めた。</p> <p>道徳教育は教育活動全体で行われる必要があることから、各校で全体計画や別葉を作成し、道徳教育の充実に取り組んだ。各校において、児童生徒の実態をもとに、日々の学校生活で場面を捉えて指導したり、従来の道徳授業を工夫したりしながら、子どもたちの道徳性の涵養を目指して取り組んだ。</p>		
今後の課題 方向性	「特別な教科道徳」について理解を深めるとともに具体的な指導や評価方法について実践を積み重ね、引き続き「考え、議論する道徳」の授業づくりを進める。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	子どもたちの道徳性を養うことは、変化が激しく価値観が多様化する現代社会を生きていく上で必要なことである。学習指導要領の改定を受け、適正な指導が行われるよう具体的な取組を進めたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○感性を磨き、豊かな心を育てる 読書活動の充実	
事業等	学校司書の配置、新刊図書の購入、学校図書館蔵書管理システム導入の検討	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校司書の配置 小学校7校を巡回：会計年度任用職員報酬1,890千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書1名の配置</li> <li>・学校司書により市内全小学校（巡回）における読書環境の充実</li> <li>・学校司書及び図書館職員が連携した読書活動の充実</li> </ul> <p>【新刊図書の購入：図書購入費1,891千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の読解力に応じた優良図書の購入</li> <li>・読書感想文推薦図書の購入</li> </ul> <p>【下田中学校学校図書館の活用検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校国語科教職員、市立図書館職員等で、新たに整備される下田中学校学校図書館の活用方法について検討。</li> </ul>		
検証	<p>学校司書1名の任用により、毎月各小学校3日程度を巡回訪問することで、各校の図書室などにおける読書環境の充実に取り組んだ。</p> <p>学校の要望を踏まえて、担任の先生と学校司書及び図書館職員が連携し、児童の読書意欲向上に向けて掲示物の作成や読み聞かせを実施した。</p> <p>学校司書の専門性を活かして、児童の読解力に応じた優良図書の紹介、新刊図書購入時のアドバイス、図書館の使い方についての指導等に取り組み、学校図書室の環境整備や、各校における読書活動の充実に繋げた。</p> <p>専門性が必要となる一人職であることや、研修の機会が少ない実情を踏まえ、さらに専門性を高めるため、図書館職員との交流や読書指導にかかわる意見交換会などに参加して得られたことを各校に還元した。</p> <p>読書感想文推薦図書を全校分購入し、子どもたちにとって魅力的な新刊図書も購入した。読書環境の充実のために、各校図書室の蔵書充実に取り組んだ。</p> <p>下田中学校増築棟に新設される学校図書館の活用について、検討を行った。</p>		
今後の課題 方向性	学校司書の任用を継続・増員するとともに、新設される下田中学校学校図書館に蔵書管理システムを導入し、更なる読書環境を充実させる。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	豊かな感性を育むことにつながる読書の環境を充実させるためにも、学校、学校司書、図書館が連携していくことは効果的であることから、専門的な知識をもった学校司書の配置、増員及び読書指導の充実を図っていきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○内と外に開かれた信頼される学校づくりの推進	
事 業 等	学校公開と学校評価による教育活動の改善、地域の人材活用	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【学校公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより等による自校の教育活動についての発信</li> <li>・積極的な学校行事の公開や一日参観等の実施</li> </ul> <p>【学校評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や保護者を対象とした学校生活アンケートの実施</li> <li>・学校生活アンケートの結果をもとにPDCAを機能させた教育活動の改善</li> <li>・学校自己評価及び学校評議員等による学校関係者評価の実施</li> </ul> <p>【地域の人材活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能教科等における地域の人材活用</li> <li>・総合的な学習における地域の専門家の活用</li> </ul>
検 証	<p>学校行事や一日参観、総合的な学習の時間の発表等、積極的に学校を保護者や地域に公開した。保護者や地域の学校に対する関心は高く、多くの保護者や地域の方が学校の様子を参観する姿が見られた。また、各校の創意工夫により、学校だより等で子どもの様子や学校の現状、教育活動のねらい等を発信し、地域との連携に努めた。学校の教育活動に協力したいという地域の思いは各校で見られ、それぞれの学校で地域の教育力を生かした活動につながった。</p> <p>学校評価では、どの学校でも年2～3回児童・保護者を対象とした学校生活アンケートを実施し、その結果を各家庭や地域に還すとともに、全職員で確認し、具体的な解決策を探った。こうしたPDCAサイクルを機能させることで、学校教育目標の具現に向けて、取組の改善を図っていった。また、学校評議員や地域の有識者による学校関係者評価を実施し、教育活動の改善に取り組んだ。</p> <p>各校の教育活動の特色を生かし、地域の専門家を招いての稲作活動や教科等相談員を活用した音楽、書写、総合的な学習を実施した。地域人材の活用を通して、開かれた学校づくりを実施した。</p>
今後の課題 方 向 性	地域・家庭との連携・協働により「社会に開かれた教育活動」を実現する体制づくりを進める。
教育委員会 評 価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コ メ ン ト	保護者も地域も自分たちの学校のために協力したいと考えている。教育活動の更なる充実を進めるためにも、社会に開かれた学校づくりを推進したい。

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○関係機関との連携体制の構築と子どもを守る体制の強化	
事業等	関係機関との連携、“チーム学校”の推進	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県賀茂児童相談所、市福祉事務所、市民保健課等との連携</li> <li>・ 市要保護児童対策協議会及び母子連絡会での情報共有</li> <li>・ 下田警察署との連携</li> </ul> <p>【“チーム学校”の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SC及びSSW（県任用）の活用</li> </ul> <p>*SC：スクールカウンセラー、SSW：スクールソーシャルワーカー</p>		
検証	<p>近年、学校だけでは解決できない家庭的な背景を起因とする不登校や生徒指導案件等がふえてきており、関係機関との連携体制の強化は必須となっている。</p> <p>賀茂児童相談所や福祉事務所と連携し、積極的にケース会議を開催したり、各小中学校の入学説明会等保護者が多数集まる会でSSWから説明を行ったりすることで、虐待等から子どもを守るための情報を共有し、未然に児童生徒の生命や安全を守るよう努めた。また、子どもの貧困や発達に課題をもつ児童生徒による問題行動や不登校、学校生活への不適応が問題になっていることから、市民保健課及び福祉事務所と情報共有に努め、早期からの適切な就学支援を進めることで、一人ひとりの子どもの成長を支えてきた。育児支援や乳幼児の虐待、療育等の問題については主に母子連絡会において、学齢児の虐待や療育、不登校等については主に要保護児童対策協議会において、市教委担当者や学校・園の代表が情報交換をし、子どもや家庭の実態把握と効果的な対応に取り組んだ。</p> <p>児童生徒の問題行動や地域の不審者情報などについては、警察が関わる案件こそ多くはないが、下田警察署と情報共有しながら対応することができた。</p> <p>県費による配置だが、現在市内全校にSC及びSSWが配置（中学校区等）されている。市教委としてSSWと定期的に連絡会をもったり、SC・SSWを交えてケース会議を実施したりするなど、学校のチーム力向上を図った。</p>		
今後の課題 方向性	<p>学校だけでは解決が難しい事案が増えていることから、外部機関と連携しながら対応を進めるとともに、SCやSSW等を活用して“チーム学校”として子どもを守る体制を強化する。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>学校教育を取り巻く諸問題を解決していくには、各関係機関との連携は必要不可欠である。開かれた学校づくりを進め、チームとして教育活動に取り組む体制づくりを推進していきたい。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○関係機関との連携体制の構築と子どもを守る体制の強化	
事業等	放課後児童対策事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○ 放課後児童クラブ入室延べ児童数 (単位：人)											
	区分	1年生		2年生		3年生		4年生以上		合計		
		通年	長期休み	通年	長期休み	通年	長期休み	通年	長期休み	通年	月平均	長期休み
	下田小学校	246	8	91	10	141	7	91	3	569	47.4	28
	稲生沢小学校	195	7	119	10	72	4	42	20	428	35.7	41
	朝日公民館	61	3	131	2	35	4	49	4	276	23	13
浜崎小学校	28	10	56	8	17	2	12	3	143	11.9	23	
検証	開設日：月曜日から土曜日											
	開設時間：（平日） 授業終了後から午後5時30分まで											
	（土曜日、長期休校日） 午前8時30分から午後5時30分まで											
今後の課題 方向性	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対し適切な遊び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、「放課後児童クラブ」を開設している。											
	令和2年度からは、従来の下田小学校、稲生沢小学校、朝日地区放課後児童クラブに加え、浜崎小学校放課後児童クラブを浜崎小学校増築棟に開設した。											
	また、稲生沢小学校放課後児童クラブの開設準備を実施した。通年の登録児童数は、下田・稲生沢・朝日・浜崎クラブで月平均118人、春・夏・冬季の長期休み期間には、通年登録の児童のほか延べ105人の登録があった。											
教育委員会 評価	将来的に市内全小学校区での放課後児童クラブ開設を目標に事業を推進すると共に、より利用しやすい放課後児童クラブを目指し、就学前から就学移行における子どもの成長に合わせたスムーズな支援を実施することで、子育て支援・児童の安全と健全な育成を推進した。											
	全小学校区での放課後児童クラブ開設を目標に掲げ、未設置である白浜小学校の開設に向けて準備を進める。事業拡充に伴い現在20人の支援員を雇用しており、継続して事業実施するための人員の確保に努めていく。											
	A	十分成果が上がって良好に行われている										
評価	B	成果が上がって概ね良好に行われている										
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要										
評価に対する コメント	目標である全小学校区での放課後児童クラブの開設に向け推進していきたい。											

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○幼保こども園・小・中・高の連携の強化	
事 業 等	幼保こども園の連携と幼小の接続、小中連携	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【幼保こども園の連携と幼小の接続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保こども園の子供間、職員間の交流</li> <li>・幼保こども園と小学校との円滑な接続</li> </ul> <p>【小中連携の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区単位での合同研修会の実施</li> <li>・小中連携の強化</li> </ul>
検 証	<p>賀茂地域に幼児教育アドバイザーが配置されるようになり、市内各園及び小学校を訪問するとともに、園・校内研修支援に取り組んできた。平成30年度以降賀茂地域1市5町が共同設置する形に移行され、幼児教育のさらなる研修体制教化が行われている。中でも、11月に実施した賀茂地区幼小連携推進研修会では、幼保こ園の職員と小学校の教員とで子どもの学びの捉え方に関し、共通理解を図る機会をもつことができた。また、幼小の連携が深まるように大学教授を交えた下田市幼小接続研修会開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。小中の連携については、同じく新型コロナウイルス対応のため、感染状況を考慮しながらできる範囲での部活動体験、授業参観等を通して、中1ギャップが生じないよう取り組んだ。また、令和4年の中学校統合を見据え、統合準備委員会を開催し、市内小中学校の教職員の関係者が会し、各部会に分かれて実務的な協議を行うことで、小中の連携を着実に進めている。</p> <p>今後さらに幼保・小・中・高の連携を強化するためには、民間保育所を含めた5園と7小学校との交流を更に進めるとともに、中から高への接続も含め、更に長いスパンで連携を図り、子供たちの成長を支える必要がある。間近にせまってきた中学校統合を見据え、これまで以上に幼保こ・小・中・高で願う子供の姿を共有し、具体的な取組を進めたい。</p>
今後の課題 方 向 性	幼保こども園、小学校、中学校、高校の縦の接続と横の連携を意識し、中学校統合も見据えた、具体的な児童生徒の交流や職員の交流を推進する。
教育委員会 評 価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コ メ ン ト	子どもの成長は幼保こども園から小学校、中学校、高校と切れ目なくつながっている。子どものよりよい成長を支えるためにも、更に幼保こ小中高の連携強化を推進していきたい。

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「安心・安全な環境づくり」の推進	○自助、共助の力を育成する防災教育、安全教育の充実	
事 業 等	地域と連携した防災・防犯教育	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【地域と連携した防災・防犯教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域が連携した防災・防犯教育の実施</li> <li>・災害に応じた防災訓練等の見直しと効果的な実施</li> <li>・土砂災害や津波を想定した各校の避難経路の確認</li> <li>・登下校防犯プランに基づく通学路点検の実施</li> </ul> <p>【公用車による青色防犯パトロールの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車による定期的な青色防犯パトロール</li> </ul>		
検 証	<p>各校の災害リスクを踏まえて、地域の防災担当者や市役所防災安全課及び県賀茂振興局危機管理課と連携した取組を進める等、地域の実情に応じた防災教育の充実に努めた。また、土砂災害、津波や東南海トラフ地震を想定し、避難確保計画の策定や学校防災マニュアル等の適時見直しに各校取り組んだ。災害に応じた避難経路の検討や避難訓練のあり方を考えるなど、安全かつ安心できる学校づくりを目指した。</p> <p>登下校防犯プランに基づく通学路の点検を各小学校において実施し、学校、地域、保護者において危険・要注意箇所を確認した。</p> <p>市役所公用車(10課20台が青色回転灯装備車として登録)において、各課業務中に適時パトロールを実施した。教育委員会においては毎月定期的なパトロールを実施した。</p>		
今後の課題 方 向 性	土砂災害や津波及び東南海トラフ地震等、あらゆる災害にも対応した安全かつ安心できる学校づくりを推進するとともに、地域の協力が不可欠なソフト的施策の強化及び通学路の登下校時における防犯機能の強化を図る。		
教 育 委 員 会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	台風に伴う災害、東日本大震災等の大災害時の対応に加えて、身近な災害リスクへの対応も必要とされている。児童生徒の安全を守る防災教育の充実、安全な学校施設の整備、緊急時の体制づくり等、防犯機能の強化、安全かつ安心できる学校づくりを努めたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「安心・安全な環境づくり」の推進	○人権意識を育む学校づくりの推進	
事 業 等	不登校児等対策連絡協議会、市いじめ問題対策連絡協議会、人権擁護委員による人権の花運動・学校訪問、全国中学生人権作文コンテストへの参加	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【不登校児等対策連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内児童生徒の不登校やいじめの状況についての情報共有及び協議</li> </ul> <p>【人権擁護委員による人権の花運動・学校訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施</li> </ul> <p>【全国中学生人権作文コンテストへの参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施</li> </ul>		
検 証	<p>令和2年10月12日に市生徒指導研修会を兼ね、不登校児等対策連絡協議会を開催した。民生委員・児童委員とともに、市内の小中学生の不登校やいじめの状況について情報共有を行い、様々な立場から市内の児童生徒一人ひとりの人権を守るよう取り組んだ。</p> <p>また、いじめ防止対策法に基づき整備を進めてきた市のいじめ問題に対する体制が、「下田市いじめ防止条例」の制定に伴って整備され、令和2年11月12日には「下田市いじめ問題対策連絡協議会及び下田市いじめ問題対策専門委員会」を開催した。令和2年度は、中学校のいじめ認知件数20件(昨年度38件)、小学校が86件(昨年度88件)となっている。小中学校ともに減少したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施した長期間に及ぶ休校が影響していると思われる。引き続き、早期発見が未然防止につながるという観点から、軽微なものでも認知し学校から報告を挙げるようにしている。なお、令和2年度は、認知したいじめの重大事案はなかったため、専門委員会は連絡協議会と共催した1回のみ開催し、下田市各小中学校の現状を把握するとともに、いじめ問題の未然防止と早期対応について協議を深めた。</p>		
今後の課題 方 向 性	教育活動全体を通じて児童生徒の人権感覚を育てるよう意図的に教育活動に取り組むとともに、教職員の人権感覚の向上に努める。		
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	やがて社会に出て、一人の社会人として生きていく子どもたちに、人権感覚を育ててほしい。そのためにも、教職員が人権感覚を身に付け、日々の教育活動において子どもたちと関わることを期待している。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○児童生徒のよりよい学びに向けた 学校再編整備	
事業等	中学校再編準備事業、中学校再編整備事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<b>【中学校再編に関する取り組み】</b>	
	下田市立学校統合準備委員会 第三次答申	新中学校校章について 新中学校通学方法等について
	下田市立学校統合準備委員会	4回開催(内書面会議1回)
	市長と語る会	8回開催
	下田市立下田中学校「校章」 デザイン募集	一般51作品・児童生徒501作品 計552作品
	新中学校校章市民投票	対象：市民及び児童生徒、教職員 投票人数：1,734票
	新中学校部活動加入希望調査	対象：全児童及び中学校1年生 配付：928 回収890 回収率95%
	新中学校通学方法等に係る 7小学校区ヒアリング	対象：小中学校PTA役員等 出席者数：101名
	下田市立学校統合準備委員会委員報酬 180千円 下田中学校グラウンド改良工事(繰越明許) 20,000千円 下田中学校仮設校舎整備工事(債務) 13,706千円 下田中学校整備工事監理業務委託(債務) 15,675千円 下田中学校整備工事(債務) 860,189千円 下田中学校管理用備品 14,574千円	
検 証	下田市立学校統合準備委員会については、4回（うち書面会議1回）の委員会を開催し、新中学校の校章、通学方法及び部活動等の1校化に向けた具体的な協議を進めるとともに、3月には校章、通学方法等の第三次答申を行った。 8月には下田市立学校統合準備委員会の部会で、保護者、地域住民、若手教職員等で構成する未来の下田創造プロジェクト部会が、これまで協議してきた未来の下田を担う人材育成の方策などを基に「下田市教育大綱PJ Tバージョン」を作成し、市へ提言を行った。 1月から2月にかけて、新中学校通学に係るヒアリングを全小学校区で開催し、通学方法や通学路危険箇所等の意見を集約した。 また、統合準備委員会日より第6号を発行し、中学校の統合に関する進捗状況、スケジュール等の情報を提供した。	

## 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

検 証	<p>中学校再編整備事業については、令和元年度に国から学校施設環境改善交付金の採択を受けた下田中学校グラウンド改良工事を本年度に全額繰り越し、改良工事を実施した。</p> <p>令和元年度から令和3年度にかけて下田中学校仮設校舎整備工事を実施、令和2年度と令和3年度の債務負担である下田中学校整備工事監理業務委託及び下田中学校整備工事については、令和2年度分として、既存校舎北棟の改修工事、増築棟及び新屋内運動場新築工事を実施した。また工事の進捗に合わせ、新中学校の管理用備品についても順次整備した。</p>	
今後の課題 方向性	<p>中学校再編に関する具体的な協議(新しい学校のあり方、校歌等)について下田市立学校統合準備委員会を通じ進め、整備工事についても着実に執行する。</p>	
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている
	B	成果が上がって概ね良好に行われている
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コメント	<p>中学校再編に関する説明等を十分に行った上で、様々な意見を広く聞き、一歩ずつ着実に進めている。今後も保護者、学校、地域の声を大切にし、より良い中学校再編を推進していきたい。</p>	

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○安心・安全な給食を提供する 学校給食センターの運営	
事業等	学校給食管理運営事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>学校給食センターでは市内小中学校 11 校と県立東部特別支援学校 1 校へ給食を提供し、調理配送業務は株式会社レクトンへの業務委託により運営している。</p> <p><b>【債務負担行為】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>0 千円</td> <td>令和元年度</td> <td>59,078 千円</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>59,487 千円</td> <td>令和 3 年度</td> <td>59,620 千円</td> </tr> <tr> <td>総 額</td> <td>178,185 千円</td> <td>請 負 先</td> <td>株式会社 レクトン</td> </tr> </table> <p><b>【給食費公会計化】</b></p> <p>学校給食管理システムにより、市において賦課・徴収業務を行っている。          学校等給食費 収入済額 60,976,845 円(幼稚園等給食費を除く)          収入未済額 1,977,110 円(94 件)</p> <p>賄材料費 通常分 63,796,224 円、地域支援分 3,974,971 円          学校給食実施回数 年間 152 回 小学校 931 人分・中学校 514 人分(R2.5.1 現在)          臨時休業に伴い年間学校給食費を小学校 38,900 円、中学校 46,300 円とした。</p> <p><b>【衛生管理・食育推進】</b></p> <p>学校給食危機管理対応マニュアルに基づく衛生管理の実施          食物アレルギーの児童生徒への対応          地域食材を活用した給食の提供</p>			平成 30 年度	0 千円	令和元年度	59,078 千円	令和 2 年度	59,487 千円	令和 3 年度	59,620 千円	総 額	178,185 千円	請 負 先	株式会社 レクトン
平成 30 年度	0 千円	令和元年度	59,078 千円												
令和 2 年度	59,487 千円	令和 3 年度	59,620 千円												
総 額	178,185 千円	請 負 先	株式会社 レクトン												
検 証	<p>調理配送業務の民間委託に伴い、定期的な業務確認、意見交換、研修会など、徹底した安全管理により、安定した学校給食が提供できた。</p> <p>保護者等から学校給食費を口座振替又は申し出により児童手当から徴収した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、年間 152 回(通常 180 回)の給食提供とし、学校給食費を小学校 38,900 円、中学校 46,300 円とした。</p> <p>学校給食危機管理対応マニュアルに基づき、学校給食センターの衛生管理に努めた。食物アレルギーの児童生徒を把握し、安全性を最優先にした対応を実施した。新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用し、地産地消週間やふるさと給食の日などでより良い地元食材等を給食として提供するとともに、給食食材提供業者に対し、通常分の他に地域支援分として賄材料費を支出した。</p>														
今後の課題 方 向 性	<p>食材費高騰に伴う学校給食費改定の検討とともに、公会計化による適正な賦課徴収事務の執行として、未収金の回収及び児童手当からの徴収を推進する。</p>														
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている													
	B	成果が上がって概ね良好に行われている													
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要													
評価に対する コ メ ン ト	<p>給食センターの運営は、徹底した安全管理により良好に行われている。学校給食費の適正な賦課徴収事務の執行とともに地元食材を活用した給食を通じての食育に尽力していきたい。</p>														

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○ICTを活用した授業実践を行う体制の整備	
事 業 等	賀茂地域校務支援事務共同化事業、奨学振興事業 小学校教育振興事業、中学校教育振興事業、学校情報 通信環境整備事業(GIGAスクール構想関連)	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【賀茂地域校務支援事務共同化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賀茂地域校務支援事務共同化事業負担金 165千円</li> </ul> <p>【小学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校プログラミング教育用教材リース 1,848千円</li> <li>・小学校教職員用パソコンリース(108台) 3,576千円</li> <li>・小学校教育用パソコンリース(182台) 9,214千円</li> </ul> <p>【中学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教職員用パソコンリース(62台) 3,357千円</li> </ul> <p>【奨学振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育業務委託については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業中止。</li> </ul> <p>【学校情報通信環境整備事業(GIGAスクール構想関連)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校においてタブレット端末等1,257台整備及び校内LAN工事等実施。</li> </ul>																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業費</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>端末用消耗品費</td> <td>7,242千円</td> <td>端末用タッチペン、充電器等</td> </tr> <tr> <td>教育用端末活用支援業務委託</td> <td>12,320千円</td> <td>端末設定、利用推進支援費</td> </tr> <tr> <td>情報通信環境施設整備工事設計業務委託</td> <td>3,465千円</td> <td>小学校7校分(校内LAN、電源キャビネット整備設計業務)</td> </tr> <tr> <td>情報通信環境施設整備工事</td> <td>64,119千円</td> <td>小中学校11校(校内LAN、電源キャビネット整備)</td> </tr> <tr> <td>教育用端末購入</td> <td>56,345千円</td> <td>タブレット端末1,257台</td> </tr> <tr> <td>モバイルWi-Fiルーター購入</td> <td>270千円</td> <td>モバイルWi-Fiルーター35台</td> </tr> <tr> <td>遠距離学習用マイク購入</td> <td>278千円</td> <td>遠距離学習用マイク、WEBカメラ</td> </tr> <tr> <td>無線LAN用子機</td> <td>758千円</td> <td>USB型無線LAN子機購入</td> </tr> <tr> <td>大型掲示装置購入</td> <td>19,761千円</td> <td>電子黒板31台(小28台、中3台)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>164,582千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			内 容	事業費	備 考	端末用消耗品費	7,242千円	端末用タッチペン、充電器等	教育用端末活用支援業務委託	12,320千円	端末設定、利用推進支援費	情報通信環境施設整備工事設計業務委託	3,465千円	小学校7校分(校内LAN、電源キャビネット整備設計業務)	情報通信環境施設整備工事	64,119千円	小中学校11校(校内LAN、電源キャビネット整備)	教育用端末購入	56,345千円	タブレット端末1,257台	モバイルWi-Fiルーター購入	270千円	モバイルWi-Fiルーター35台	遠距離学習用マイク購入	278千円	遠距離学習用マイク、WEBカメラ	無線LAN用子機	758千円	USB型無線LAN子機購入	大型掲示装置購入	19,761千円	電子黒板31台(小28台、中3台)	合 計	164,582千円	
	内 容	事業費	備 考																																	
	端末用消耗品費	7,242千円	端末用タッチペン、充電器等																																	
	教育用端末活用支援業務委託	12,320千円	端末設定、利用推進支援費																																	
	情報通信環境施設整備工事設計業務委託	3,465千円	小学校7校分(校内LAN、電源キャビネット整備設計業務)																																	
	情報通信環境施設整備工事	64,119千円	小中学校11校(校内LAN、電源キャビネット整備)																																	
	教育用端末購入	56,345千円	タブレット端末1,257台																																	
	モバイルWi-Fiルーター購入	270千円	モバイルWi-Fiルーター35台																																	
	遠距離学習用マイク購入	278千円	遠距離学習用マイク、WEBカメラ																																	
無線LAN用子機	758千円	USB型無線LAN子機購入																																		
大型掲示装置購入	19,761千円	電子黒板31台(小28台、中3台)																																		
合 計	164,582千円																																			
<p>賀茂地域校務支援事務共同化協議会において教職員の校務事務の効率化を図るため、通知表及び指導要録の様式変更(中学校)などの調整を行い、事務負担の軽減に繋がるように取り組んだ。</p> <p>新学習指導要領改定により、小学校におけるプログラミング的思考学習が導入され、ヒト型ロボットのPepperを活用したプログラミング教育の推進に努めた。</p> <p>学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校通信教育課程を利用したプログラミング教室(中学生希望者対象)については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からやむなく事業を中止した。</p> <p>新時代に求められる「個別最適な学習」「協働的な学習」の充実に伴い、学校教育の情報化(GIGAスクール構想)が進められている中、小中学校において、</p>																																				
検 証																																				

## 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

	タブレット端末（タッチペン・キーボード）1,257 台の整備を完了するとともに情報通信環境施設整備工事（校内LAN等）を実施した。	
今後の課題 方向性	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、学校現場におけるICT教育環境が劇的に変化するとともにその重要性がより高まっている。</p> <p>新時代の先端技術の活用も求められており、創造性を育む教育の実現が重要であることから、子どもたちの確かな学力を育成するため、更なる効果的な活用を推進する。</p>	
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コメント	ICT教育環境整備の変化に伴い、ICT支援員等の活用による教職員の事務負担の軽減やタブレット端末を取り入れた新たな授業のあり方に期待したい。	

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○既存学校施設整備	
事 業 等	小学校管理事業、中学校管理事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【小学校管理事業・中学校管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜崎小学校屋内運動場改修工事 50,000千円（助成金15,780千円）</li> <li>・稲生沢小学校屋内運動場トイレ改修工事 1,485千円（助成金1,400千円）</li> <li>・小学校トイレ改修工事（下田小・朝日小・浜崎小・白浜小） 5,166千円（助成金3,000千円）</li> <li>・小学校トイレ改修工事（感染症対策分）（稲梓小・下田小・大賀茂小） 5,280千円（交付金5,277千円）</li> </ul> <p>※トイレ洋式化率43.5%（136基/313基）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲生沢小学校空調設備改修工事 5,390千円</li> </ul>		
検 証	<p>昭和54年に建築された浜崎小学校の屋内運動場は、耐力度調査の結果より外壁の爆裂等の劣化が顕著に見受けられたため、外壁改修を主に改修工事を実施した。</p> <p>静岡県市町村振興協会の助成を受け、下田小学校・朝日小学校・浜崎小学校・白浜小学校に対してトイレの洋式へ9組の改修工事を実施した。また、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用し、避難所となる稲梓小学校校内及び屋外トイレ・下田小学校屋内運動場トイレ・大賀茂小学校屋外トイレ（計8組）の洋式化を実施した。</p> <p>不具合が生じていた稲生沢小学校の管理諸室5室に対して空調設備設置工事を実施した。</p>		
今後の課題 方 向 性	<p>令和3年度末には中学校再編整備事業が終了することなどから、環境整備が遅れている小学校施設について、計画的な整備を進め、安全・安心で良好な学校環境を確保する。</p>		
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	<p>児童生徒の安全安心を確保するため、教育施設の環境整備を推進するとともに、避難所に指定されている学校を優先的に、災害時にも対応できる機能を備えた学校施設の計画的な整備を推進していきたい。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇就学前教育の充実	○幼保再編後の子育て支援の充実と 地域との連携	
事 業 等	公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業、 民間保育所事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業】							
	(入所児童数 4/1)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	下田保育所	1人	10人	12人	15人	17人	20人	75人
	認定こども園	0人	10人	18人	30人	41人	48人	147人
	下田幼稚園	—	—	—	9人	9人	10人	28人
	利用者負担金 11,763千円（収入未済額 325千円、不能欠損額 145千円）							
	【民間保育所事業】							
	多様な保育推進事業補助金 13,166千円（特財 4,834千円）							
	待機児童解消特別対策事業費補助金 1,560千円（特財 780千円）							
	民間保育所給食費補助金 2,621千円							
	民間保育所建設費償還事業補助金 2,100千円							
	保育所運営費 168,079千円（特財 119,972千円）							
	利用者負担金 7,437千円（収入未済額 1,590千円、不納欠損額 113千円）							
検 証	<p>公立保育所1園と民間保育所1園、公立認定こども園1園と民間認定こども園1園の4施設で保育を実施した。</p> <p>公立保育所については、施設や設備の老朽化が進行する中で、入所児童の保育環境を維持するために施設等の管理に努めた。また、民間保育所については、運営費の支出をするとともに乳幼児保育、障害児保育、途中入所サポート、給食費及び保育所建設費の償還経費、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対する補助金の交付を行い、適正な運営体制の確保に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年4月16日から5月31日までの間、登園の自粛を要請した。</p>							
今後の課題 方向性	<p>少子化の進行や保護者の利用ニーズの変化により、施設の利用状況が大きく変化しているため、今後の幼児教育・保育施設のあり方について検討していく。</p> <p>また、民間保育施設に対し、適切な運営体制の確保に向けた支援、指導を継続して行っていく。</p>							
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている						
	B	成果が上がって概ね良好に行われている						
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要						
評価に対する コメント	保護者や地域の方々と連携し、適切な運営を実施することができた。今後も引き続き、就学前教育の充実を図っていきたい。							

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇就学前教育の充実	○幼保再編後の子育て支援の充実と地域との連携	
事業等	子育て支援事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p><b>【地域子育て支援センター運営事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員1人・会計年度任用職員2人体制、日数204日、利用者人員2,223人</li> <li>交流の場の提供（開放）、子育て相談30件、支援センター通信の発行、講習等の実施4回、参加者35人（保健師講話、食育講座、防災講話ほか）、親子体験事業20回、参加者598人（体育館で遊ぼう、季節の制作他）、定例事業49回、参加者728人（誕生会、発育測定等）</li> </ul> <p><b>【ファミリーサポートセンター事業】</b></p> <p>登録まかせて会員50人、お願い会員49人、利用実績0件、0人</p> <p><b>【病児保育事業、実費徴収に伴う補足給付事業】</b></p> <p>年間利用人員 80人、病児保育事業補助金 7,371千円（特財5,597千円） 実費徴収に伴う補足給付（教材費・行事費等の実費徴収額の一部助成）31千円</p> <p><b>【子育てお試しクーポン事業】</b> 未就園児家庭126件を対象に、子育てサービスに利用できる子育てクーポンを配布。利用率55.6%。</p>		
検 証	<p>子育て支援センターでは、親子の交流の場の提供、各種講座の開催、子育て相談等を実施し在宅で子育てする保護者の孤立化、育児不安の解消を図り、地域の子育て支援の核として事業を推進した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月8日から5月30日まで臨時休館とした。</p> <p>保護者の就労と育児の両立を支援するため、ファミリーサポートセンターの運営を行った。令和2年度の実績として、会員2人の新規登録があったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動実績はなかった。</p> <p>その他、病気のため集団保育が困難な児童を一時的に預かる病児保育の実施、子育てサービスに利用できる子育てお試しクーポンの配布等を実施し、施策の充実を図った。</p>		
今後の課題 方向性	子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子育てをできるよう各種事業の整備、充実を図る。		
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<b>B</b>	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	子育て世帯のニーズが多様化している中、子育て支援の更なる充実を図ってきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇就学前教育の充実	○教職員の資質と能力の向上に向けた研修の充実	
事業等	園内研修の実施、園外研修への派遣（リモート研修を含む）、幼保こ小連携研修への参加 幼児教育アドバイザーによる訪問研修	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【園内研修の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修（定例職員会議）、テーマ別研修（幼児理解、発達支援、防災・安全対策、食育）</li> </ul> <p>【幼保連携研修】 ・年齢別研修</p> <p>【幼保こ小連携研修】 ・就学への滑らかな接続のための双方向的な職員研修</p> <p>【幼児教育アドバイザーによる訪問研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開保育から保育を振り返り、幼児理解や保育の課題などの研修</li> </ul> <p>【園外研修への派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修（園長研修会、主任保育士研修会、教頭・主任研修会、初任者研修）</li> <li>・課題に対応した研修（防災担当者研修会、発達障害療育支援専門講座、乳幼児研修会、食育研修会等）</li> </ul>		
検証	<p>園内研修では、エピソード記録やリフレクションシートを活用し研修することで、幼児理解を深め保育教育や園運営についての職員の共通理解や実践力の向上につながっている。テーマ別にグループに分けて行うなど効率よく研修できるようにしている。</p> <p>幼保連携研修では、年齢別のグループにより事例検討等を行い保育のあり方の共通認識を図り、相互理解を深めることで職員の意識、能力の向上に努めた。</p> <p>幼児教育アドバイザーの訪問研修では、公開保育とその後の研修により、保育の振り返りや今後の課題が明確になったことにより職員の資質向上に繋がった。</p> <p>コロナ禍により園外研修への派遣は少数であったが、リモートによる研修に多数参加することができた。ZOOMやオンデマンド視聴により複数人で研修を受けることが可能となり、研修内容を共有することができ子どもの個性や発達状況に応じた教育・保育の質的向上につながった。</p>		
今後の課題 方向性	園内、園外において園や教諭・保育士等の課題に応じた研修が計画的に実施できるよう研修体制を整え、研修機会の確保に努める。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	今後も効果的な研修を推進し、幼児教育・保育の質の向上に努めたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇施設・環境整備の推進	○認定こども園を核とした 施設・環境整備	
事業等	公立保育所管理運営事業、幼稚園管理事業等	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【公立保育所管理運営事業】 下田保育所非常用通報装置取替 352 千円、下田保育所照明取替他修繕 1,161 千円、 玄関用すのこ等備品購入 232 千円</p> <p>【認定こども園管理運営事業】 下田認定こども園修繕 383 千円</p> <p>【幼稚園管理事業】 下田幼稚園エアコン取替工事 1,048 千円、下田幼稚園修繕 401 千円 空気清浄機購入 391 千円、他備品購入 137 千円</p>		
検証	<p>公立保育所、幼稚園の施設や設備の老朽化が進行する中、下田保育所非常用通報装置取替 352 千円、下田幼稚園エアコン取替工事などを実施し入所児童の保育環境の維持・管理に努め、就学前教育における環境整備、安心安全な環境づくりを推進した。</p>		
今後の課題 方向性	<p>安全・安心な教育・保育環境を確保するため、継続して各施設の維持管理や整備に取り組んでいく。また、津波浸水域内にある施設の更なる安全対策を検討、推進していく。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>計画的に修繕・整備等を実施し、良好な環境整備に努めたい。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。		
	◇青少年活動の充実	○地域活動への参加や地域との交流を深める機会の充実	
事業等	青少年海の家管理運営事業、青少年健全育成事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○青少年海の家管理運営事業																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">施設名</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th rowspan="3">使用料収入</th> </tr> <tr> <th colspan="3">利用人員</th> </tr> <tr> <th>市内</th> <th>市外</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年海の家</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>320円</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	令和2年度			使用料収入	利用人員			市内	市外	計	青少年海の家	0人	10人	10人
施設名	令和2年度			使用料収入															
	利用人員																		
	市内	市外	計																
青少年海の家	0人	10人	10人	320円															
検証	<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日～5月31日まで休館</p> <p>・管理委託 120千円、光熱水費 63千円、修繕料 169千円（火災感知器修繕）、消防設備点検委託 84千円</p>																		
	<p>○青少年健全育成事業</p> <p>・青少年健全育成啓発用品 25千円、青少年健全育成看板作成 14千円</p>																		
今後の課題 方向性	<p>青少年海の家は、施設の耐震性を考慮し、平成24年4月から宿泊制限を実施しており、本来の目的である市内の児童生徒の利用はほとんどない。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により地元区誘致の教育旅行の利用もなく、全体でも1件のみの利用となった。耐震工事など大規模工事は実施していないが、必要な小修繕を行いながら、施設の維持をしている。平成29年度より、貴重な戦前の木造校舎の活用について、地元区と継続協議している。</p> <p>青少年健全育成事業としては、下田市青少年健全育成連絡協議会を開催し、各地区育成会の事業報告・計画等を協議した。また、冬季青少年健全育成のキャンペーンを行い、（夏季非行・被害防止、未成年者喫煙防止啓発は中止）啓発グッズを配付し、市民意識の向上に努めた。各地区育成会に輪番で育成会標語看板の作成を依頼し、子どもたちの意識の向上に努めた。</p>																		
	<p>青少年海の家は、耐震性がなく老朽化が進み、宿泊制限を実施する建物であるため、地元区の意向を聞きながら、施設のあり方について継続して検討していく。</p> <p>青少年の健全育成については、地域社会と青少年の関わりが希薄になっている中で、地域や学校、警察等の関係機関の協力が必要不可欠であるため、関係機関で情報の共有に努めていきたい。</p>																		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている																	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている																	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要																	
評価に対する コメント	<p>青少年海の家は、施設の老朽化が進む中、施設自体を今後どのように利用活用していくか、地元区の意見を聞きながら市としての方針を検討する必要がある。</p> <p>また、青少年健全育成事業については、声掛けや見守りを通じて地域と青少年の関わりを関係機関と連携し、子どもたちの健全育成に努めていきたい。</p>																		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。		
	◇青少年活動の充実	○文化や芸術、スポーツなどの青少年活動との連携	
事業等	青少年健全育成事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○講座開催状況							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子漁船釣り教室</td> <td>9組 23人</td> </tr> <tr> <td>海の環境しらべ隊</td> <td>2組 5人</td> </tr> </tbody> </table>		講座名	参加者	親子漁船釣り教室	9組 23人	海の環境しらべ隊	2組 5人
講座名	参加者							
親子漁船釣り教室	9組 23人							
海の環境しらべ隊	2組 5人							
検 証	<p>身近にある恵まれた自然環境と地域の特性を活かした体験的な講座を開設し、親子のふれあいの機会を創出した。</p> <p>親子漁船釣り教室を令和2年度も引き続き開催した。親子漁船釣り教室では、須崎漁協青年部の協力で、釣りの経験がなくとも、親子で海の仕事、地域の資源、環境保全について学ぶ機会の創出となった。</p> <p>海の環境しらべ隊は、NPO 法人チームくじら号やジオガン旅行団を講師にビーチコーミングを通して海の環境を学んだが、前日に台風が接近したためキャンセルが相次ぎ参加者が少なくなってしまった。</p>							
	今後の課題 方向性	事業に参加することにより、子どもたちが多くの人とのかかわりを持ち、様々な体験ができるような事業の実施に努めていきたい。						
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている						
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている						
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要						
評価に対する コ メ ン ト	ひきつづき、家庭、地域、学校と関係機関が連携し、下田の歴史や風土を生かした親子で楽しめる事業を実施していきたい。							

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。		
	◇青少年活動の充実	○家庭、地域、学校との連携を図った非行防止に向けた運動の推進	
事業等	青少年健全育成事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○補導の実施や育成会との連携を行い、青少年の健全な成長に関する取り組み ・青少年補導員報酬 146千円		
検証	青少年補導センターで、補導員による市内各地区の巡視を実施した。 また、青少年の非行被害防止事業として、県内一斉街頭補導指導、店舗の立入調査及び街頭キャンペーンを実施し、青少年の健全育成のための協力を広く呼びかけた。キャンペーンには、下田警察署、女性の会、保護司会、更正保護女性会からも参加があり、関係機関と連携、情報交換しながら、非行防止を呼びかけることができた。また、補導員と育成会の合同研修も実施した。		
今後の課題 方向性	年々子どもの数も減り、市内の中学校統廃合といったような環境の変化もある中で、今まで以上に家庭、地域、学校が連携をしていくことで、青少年の健全育成に努めていく必要がある。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	青少年の健全育成を推進するため、関係機関や地域と連携し、青少年の非行防止や青少年を犯罪被害から守るための活動を継続するとともに、スマートフォンや携帯電話関連の犯罪や非行防止についても引き続き積極的に取り組んでいきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇生涯学習活動の推進	○市民のニーズに合った学習プログラムの提供	
事業等	成人活動推進事業、公民館活動推進事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○各種学級の開設			
	名称	対象	延人員	内容
	寿大学	高齢者	441人	教養・健康・安全・歴史講座
	寿大学趣味クラブ	高齢者	中止	カラオケ
	家庭教育学級	P T A	972人	10学級、親の役割と青少年の育成等
	公民館講座	一般	300人	4講座
	水産・海洋学講座	一般	49人	4講座（うち1回はYoutubeによる）
	・家庭教育学級委託	150千円		
	・公民館講座講師謝礼	43千円		
検証	<p>高齢者を対象とした寿大学（9回実施、2回中止）を開設した。寿大学趣味クラブは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。また、公民館ごとに講座を企画し4講座34回開催し、延べ300人が参加した。県、大学の研究機関等による市民講座として、水産・海洋学講座を3回開催し49名が参加したとともにYoutubeによる講座も1回開催した。</p> <p>各種事業及び講座には、幅広い世代からの参加があり、多くの市民の生涯学習の場所となっており、市民の生涯学習活動の推進になっている。</p> <p>幼稚園、小中学校P T Aに家庭教育学級の実施を委託し、各種事業が学級ごとに実施され、家庭教育力の向上につながった。（2学級は活動中止）</p>			
今後の課題 方向性	各種事業・講座とも新規受講者を増やすためのP Rや、下田の魅力を体験できる新たな講座の実施も検討していく。			
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている		
	B	成果が上がって概ね良好に行われている		
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要		
評価に対する コメント	参加した受講者の満足度は高く、継続して受講する人が多いが、今後は、新たな受講者の獲得の工夫や新たな講座等の開設などを検討し、生涯学習の場の充実を図っていきたい。			

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇生涯学習活動の推進	○図書館ボランティアとの連携による 図書館サービスの充実	
事業等	図書館管理運営事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○図書館ボランティアとの連携による取組</p> <p>新型コロナウイルス対策として、外部を交えない少人数での活動を行ったため、ボランティアとの協働による、おはなし会、館内整理等の実績はなかった。</p> <p>○市役所他課との連携による取組</p> <p>おはなし会等：5回開催、移動図書館：4回開催、ファーストブック：3回開催</p> <p>○新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館パワーアップ事業</li> </ul> <p>一般書・児童書の小説や絵本等の図書と、自宅で調べ物や勉強をするためのレファレンス資料となる図書を378冊購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館安全・安心確保事業</li> </ul> <p>消毒液他消耗品、本の除菌を行う図書除菌機、空気清浄機、電子新聞用タブレット等を購入した。また、視聴覚室を地元の中高生対象に学習室として開放するため、空調機の設置工事を実施した。</p> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月13日～5月18日まで休館</p>		
検証	<p>図書館でのおはなし会は、安全安心に開催することができないと判断し実施できなかった。代わりに、市役所他課と連携したイベントへの参加や、子育て支援センターへの出前講座を中心に、図書館員が推進活動を行った。新たな取組みとして「移動図書館」を実施し、イベント会場等で貸出を行った。コロナ禍でも、安全安心に読書を楽しむことができるよう、コロナ対策を取りながら開館し、本との繋がり場を提供し読書機会の創出につなげることができた。</p> <p>職場体験は中学校1校、高校1校から6名と、2名の小学校教諭の受入を行った。図書館を身近に感じ、図書館の仕事に興味を持つきっかけ作りに貢献するとともに、学校と図書館との連携にもつなげる機会となった。</p>		
今後の課題 方向性	<p>コロナ禍でのボランティアグループとの関わりなど、まだまだ課題は多い。サービスの提供方法として、今までは「来てもらう」ことが中心だったため、「出向いていく」方法を検討し、本と触れ合う機会の創出をしていきたい。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>今後ともボランティアやあらゆる関係機関と連携し、子どもから高齢者まで幅広い対象に対する図書館サービスの充実に努めたい。</p>		

## 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

### 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇生涯学習活動の推進	○社会教育団体などの自主的学習活動の支援	
事業等	社会教育団体などの自主的な学習活動の支援	担当	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○自主的な学習活動の推進・支援</p> <p>公民館や小・中学校施設（体育館、グラウンド）における使用料の減免措置を実施し、社会教育団体などの自主的な学習活動、体育及びリクリエーションの振興への支援を行った。</p> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育館は4月1日～7月15日まで（4月7日・8日を除く）休館、グラウンドは4月9日～6月18日まで使用禁止</p> <p>3月より社会教育団体等が市民文化会館と市民スポーツセンターの3割減免が適用になるようにした。</p>		
検証	<p>社会教育団体などの公民館や小・中学校施設（体育館、グラウンド）使用について、減免措置を実施したことにより、自主的な学習活動への支援やスポーツを通じて体力の維持向上、技術の向上、心身の成長などにつながった。</p>		
今後の課題 方向性	<p>社会教育団体等の申請件数が増えるよう、生涯学習活動の推進に取り組んでいきたい。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>今後も幅広く充実した生涯学習の活動推進に努めていきたい。</p> <p>特に公民館や中学校の統廃合により社会教育団体などの活動の場がなくならないように、努めていきたい。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇学習施設の再編、整備	○新たな図書館の建設	
事 業 等	図書館協議会、下田市立図書館庁内検討委員会等	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>○新たな図書館建設に向けた検討</p> <p>令和元年度に実施した庁内検討委員会の報告書を基に、貴重資料の抽出作業を実施した。また、貴重資料を津波浸水想定区域外に分けて保存する場合の分館機能について、関係者への聞き取りを行った。</p>		
検 証	<p>図書館は、耐震性に劣り、津波浸水想定区域内に立地し、施設及び設備の全体的な老朽化等の問題が顕在化しており、安全性、利便性からも早急な対応が求められている。しかしながら、市全体での公共施設のあり方として、公共施設等配置基本計画（ランドデザイン）の必要性から、図書館建設についての検討が進められなかった。</p>		
今後の課題 方 向 性	<p>市の公共施設のあり方に関する計画策定に伴い、図書館のみならず、老朽化等で整備の検討が必要な社会教育施設も含めて、全体で各施設の利用状況や長期的な利用見込み等を推計し、施設規模やサービスなど、担当課としての考え方を整理したい。今後、庁内での方針決定により、必要に応じて図書館協議会や庁内検討委員会等で引き続き検討したい。</p> <p>また、市民に対し、これからの図書館の役割や図書館の必要性について理解を深めるための市民向けワークショップや講演会等を開催したい。</p>		
教 育 委 員 会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	<p>利用者と職員の安全の確保とともに、貴重資料の保存ができるよう、少しでも早く新たな図書館整備が進むことを希望する。</p> <p>また、関係する計画に基づき全庁的な検討をするとともに、計画との整合性を図りつつ、持続可能な施設のあり方について協議を進めたい。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇学習施設の再編、整備	○地域の実情に見合った公民館の再編整備	
事業等	公民館管理運営事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○公民館利用状況				
	公民館名	令和2年度		令和元年度	
		件数	利用人数	件数	利用人数
	中央公民館	1,515件	15,998人	1,710件	20,539人
	本郷公民館	205件	1,497人	241件	2,249人
	中公民館	25件	598人	258件	4,832人
	稲生沢公民館	378件	4,255人	403件	5,354人
	朝日公民館	455件	10,790人	2,062件	11,611人
白浜公民館	99件	1,760人	165件	2,937人	
合計	2,677件	34,898人	4,839件	47,522人	
<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日～5月31日まで休館 (令和元年度は2月29日～3月19日まで休館)</p> <p>・委託料(維持管理・その他) 2,926千円 ・光熱水費 3,092千円 ・修繕料 6,591千円 ・解体工事費 28,060千円</p>					
検証	<p>公民館統廃合については、中公民館は令和2年7月1日をもって、白浜公民館と本郷公民館は令和3年4月1日をもって廃止した。中公民館は解体工事を行い、白浜公民館は5,423千円の修繕を行い地元区へ譲渡し、本郷公民館は地元区が譲り受けられないため、令和3年度に解体する。</p> <p>残る朝日公民館と稲生沢公民館の2館については既に地元区では公民館を譲り受けないと決定している。</p>				
今後の課題 方向性	公民館統廃合について、地元区との協議を進め、基本方針に沿って統廃合を進めていく。また、存続する中央公民館のあり方について検討していきたい。				
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている			
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている			
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要			
評価に対する コメント	公民館の管理運営については、概ね良好に執行されている。統廃合については、すでに公民館を廃止した地区との平等性を保つよう、地元区との協議を進め、継続して統廃合を推進していきたい。				

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
体 系	◇文化施設の整備	○市民文化会館などの施設の改修	
事業等	市民文化会館管理運営事業	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○市民文化会館の管理運営 貸館事業状況一覧表					
	施 設 別			催 物 別		
	施 設	件数	利用者数	催 物	件数	利用者数
	大 ホ ー ル	109件	5,985人	集 会	851件	15,225人
	小 ホ ー ル	95件	4,822人	展 示	8件	590人
	大 会 議 室	210件	5,929人	音 楽	254件	3,709人
	小会議室(3)	318件	2,614人	映 画	17件	514人
	リハーサル室	159件	1,333人	演 劇	87件	1,885人
	そ の 他	468件	5,368人	そ の 他	142件	4,128人
	計	1,359件	26,051人	計	1,359件	26,051人
	<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日～5月31日まで休館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化会館指定管理料 76,462千円</li> <li>・修繕料 2,930千円</li> <li>・委託料(指定管理分以外) 2,255千円</li> <li>・工事費 3,234千円</li> </ul>					
検 証	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成30年度より3か年の期間で公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定している。令和2年度に令和3年度から5か年の期間で同じく公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定した。</p> <p>毎年約10万人の利用者があり、伊豆半島南部の文化拠点として定着しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で大幅な減となった。指定管理者による文化事業についても7事業の開催にとどまり、延べ1,337人の入場者となった。</p> <p>建築から30年が経過し、建物本体の一部をはじめすべての機器が耐用年数を大幅に過ぎた状態になっている。令和2年度には、吸収式冷温水機用冷却塔ファンモーター修繕、高圧真空遮断器(VCB)取替修繕、キュービクル内高圧機器(LBS・VCS)取替修繕、大ホール天井改修基本計画策定を実施するとともに新型コロナウイルス感染症対策としてトイレ改修工事、大小会議室Wi-Fi導入工事を行い利用者の安全と利便性の向上に努めた。</p>					
今後の課題 方向性	<p>建築から30年が経過し、設備全般にわたり老朽化が顕著になってきているため、円滑な運用、利用者の安全と利便性の向上のため、修繕計画に沿って計画的に改修を行うとともに大規模リニューアルを実施したい。また、新型コロナウイルスの対策をしっかりと行っただけで利用促進を図りたい。</p>					
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている				
	B	成果が上がって概ね良好に行われている				
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要				
評価に対する コメント	<p>修繕計画に沿って、計画的な改修ができるよう予算確保に努め、利用者の安全を確保し、魅力ある施設づくりを努めていきたい。</p> <p>建築から30年以上が経過したことから、大規模リニューアル改修についても検討を進めていきたい。</p>					

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
	◇文化・芸術活動の活性化	○文化事業や講座の開催 ○自主的な文化活動への支援	
事業等	芸術文化振興事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○文化事業や講座の開催          &lt;第65回下田市芸術祭の開催&gt;          新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p> <p>○自主的な文化活動への支援          生涯学習課所管施設（公民館や文化会館等）における使用料の減免措置をし、自主的な文化活動への支援を実施。</p> <p>○文化まちづくり懇談会の開催          市内で文化活動に携わる団体31名で懇談会を開催し、文化を活かしたまちづくりを推進するための意見交換を行った。</p>		
検証	<p>その他、年1回の会報の発行など、市内芸術活動の発展向上、普及に寄与している。第30回黒船祭美術展覧会は中止。</p> <p>各文化・芸術団体の生涯学習課所管施設使用について、減免措置を実施したことにより、自主的な文化活動への支援につながった。</p>		
今後の課題 方向性	<p>下田市文化協会と連携し、幅広い文化・芸術活動の推進を行い、新たな世代に活動が広がるよう啓発に努めたい。新型コロナウイルスの影響で活動が停滞しないように支援していきたい。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>文化協会と協力して、すでに定着した定例の事業に加え、文化協会への加盟の促進、幅広い世代の会員の増加につながるよう新たな取組みを検討していきたい。</p>		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
	◇文化財の保存、継承と活用	○国、県、市の指定文化財の保存と活用 ○民俗芸能などの地域文化の継承 ○埋蔵文化財の保護・保全	
事業等	芸術文化振興事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○国、県、市の指定文化財の保存と活用 吉田松陰寓寄処 ＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日～6月18日まで休館 入場者数 1,116 人 <吉田松陰寓寄処土地寄附> ・用地測量 846 千円 <歴史講座> ・4回の連続講座「南豆の歴史を後世に」を実施（延べ144人の参加）		
検 証	県指定史跡吉田松陰寓寄処の土地の寄附を受けた。 連続講座「南豆の歴史を後世に」を4回実施し、市内のみならず他市町からの参加者もあり、幅広い年代の参加者があった。		
今後の課題 方 向 性	指定文化財等の所在確認を行い、所有者への適切な管理についても指導していく。文化財等の保護保存に努め、活用についても検討する。		
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	指定文化財等の所在確認を進めるとともに、保護と管理、地域文化の継承に努めていきたい。		

## 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

### 1 施策体系・事業等

施策体系	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
	◇郷土資料の保存、継承と活用	○郷土資料の保存や研究と市史編纂事業の実施 ○郷土の文化財などの学習活動への支援	
事業等	市史編さん事業	担当	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○ 下田市史編さん事業</p> <p>『年表下田市史』、『資料編4』近現代、『通史編（上）』考古・古代・中世・近世、『通史編（下）』近現代の刊行に向け、資料収集、資料調査、原稿作成等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬（市史編さん補助） 1,030千円</li> <li>・報償費（市史編さん委員の調査活動等謝金） 2,988千円</li> </ul>		
検証	<p>刊行予定の書籍の資料収集、資料調査や執筆の進捗状況について、市史編さん委員と打合せを行いながら、刊行時期の調整を行った。</p> <p>学術的要素が強く、専門性の高い資料編のほか、市民向けの書籍を出版し、後に出版される通史編をより理解できるよう、年表下田市史の出版を予定に加えた。</p>		
今後の課題 方向性	早期の『通史編』の刊行を行いたい。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	早期の通史編の刊行に努め、各分野で収集・解読した貴重な資料をわかりやすく市民に知ってもらう機会やまちづくりに活用できる方策についても検討していきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇施設の有効活用	○学校施設の一般開放	
事 業 等	保健体育総務事務	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>○市民の体育及びレクリエーションの振興を図るため、市が設置する小学校及び中学校の施設（体育館、グラウンド）を開放し、各スポーツ団体に活動場所を提供した。</p> <p>学校施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館</td> <td>1,436件</td> <td>18,146人</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>190件</td> <td>2,914人</td> </tr> </tbody> </table> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育館は4月1日～7月15日まで休館（4月7日・8日を除く）、グラウンドは4月9日～6月18日まで使用禁止</p> <p>・光熱水費 579千円</p>			令和2年度	件数	利用人数	体育館	1,436件	18,146人	グラウンド	190件	2,914人
	令和2年度	件数	利用人数									
体育館	1,436件	18,146人										
グラウンド	190件	2,914人										
検 証	<p>利用団体は児童から老人クラブまで幅広く、多くの利用者の体力の維持向上、技術の向上、心身の成長などにつながった。</p>											
今後の課題 方 向 性	<p>競技スポーツの振興、スポーツ関係団体の育成を図るため、施設の適正な維持管理を行っていききたい。中学校統合後の体育館やグラウンドの活用について検討していききたい。</p>											
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている										
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている										
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要										
評価に対する コ メ ン ト	<p>今後も、多くの利用者が安心安全に施設利用できるよう、適切な管理運営に努めていききたい。</p> <p>中学校統合後の施設の活用についての検討を進めていききたい。</p>											

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇施設の有効活用	○利用者のニーズに応える施設整備	
事 業 等	下田市民スポーツセンター管理運営事業 吉佐美運動公園管理運営事業	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	○下田市民スポーツセンター 施設利用状況（令和2年度）		
		件数	利用人員
	体育館	619件	10,416人
	会議室1	228件	4,246人
	会議室2	216件	1,805人
	視聴覚室	521件	9,940人
	創作実習室	182件	2,994人
	陶芸窯	30件	538人
	合計	1,796件	29,939人
	利用料収入	2,963,230円	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下田市民スポーツセンター指定管理料 21,563千円</li> </ul>		
	○吉佐美運動公園 利用件数 140件 利用人数 4,903人		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉佐美運動公園管理業務委託 990千円</li> <li>・光熱水費 139千円</li> </ul>		
	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月9日～5月31日まで休館		
検 証	<p>下田市民スポーツセンターは、平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成30年度より3か年の期間で公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定しており、体育館を中心とした市民の健康施設として、多機能に利用されている。</p> <p>令和2年度に令和3年度より5か年の期間で公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ改修工事を行い利用者の安全と利便性の向上に努めた。</p> <p>吉佐美運動公園の管理は、エルダーの会に委託し、児童から高齢者まで広く使われる施設であり、市民の健康増進、競技技術の向上などに繋がっている。</p>		
今後の課題 方向性	<p>下田市民スポーツセンターについては、施設の老朽化により、修繕を必要とする箇所が次々控えている現状である。利用者の安全と利便性の向上のため、修繕計画に沿って計画的に改修を行いたい。</p> <p>吉佐美運動公園については、今後も適正な維持管理に努め、利用しやすい公園として整備していきたい。</p>		
教育委員会 評 価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	今後も、多くの市民が安心安全に施設利用できるよう、適切な管理運営と市民サービスの向上に努めていきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇スポーツの振興	○市民が気軽に参加できるスポーツイベントの開催	
事業等	社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○各種スポーツイベントの開催		
	ふれあい広場（軽スポーツ）	コロナウイルスの影響で中止	
	グラウンドゴルフ大会	参加者 116名	
	第49回下田・河津間駅伝競走大会	申込チーム 28チーム 荒天のため中止	
検証	<p>下田市スポーツ推進委員会を中心に、市民が広くスポーツを楽しむ機会、健康づくりの場を創出している。</p> <p>ふれあい広場と第49回下田・河津間駅伝競走大会については新型コロナウイルス感染症拡大防止や荒天のため中止となった。</p>		
今後の課題 方向性	スポーツの振興のため、多くの世代が参加できる新たなスポーツとしてボッチャ教室を推進していきたい。		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	既存の事業のほかにも幅広い世代の方が参加できる競技の普及を進めていきたい。		

# 令和3年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和2年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇スポーツの振興	○NPO法人などと連携した 総合的なスポーツの振興	
事業等	社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○下田市スポーツ祭委託 184千円 ○下田市体育協会補助金 355千円 &lt;13団体&gt; 陸上競技協会、サッカー協会、テニス協会、バレーボール協会、野球連盟、水泳協会、グラウンドゴルフ協会、ソフトテニス協会、ビーチバレー協会、弓道連盟、ゴルフ連盟、合気会、バスケットボール協会 ○静岡県市町対抗駅伝大会選手団派遣業務委託 1,156千円 ○東京オリンピック・パラリンピック下田市推進協議会補助金 91千円</p>		
検証	<p>競技スポーツの振興、関係団体の育成を図るため、下田市スポーツ祭を下田市体育協会に委託したが新型コロナウイルスの影響で実施は4競技にとどまった。 第21回静岡県市町対抗駅伝競走大会に参加するため、下田市実行委員会を組織し、選手候補の指導から大会当日の選手派遣までを下田市体育協会に委託し、過去最高の記録となり取組賞を受賞した。 東京オリンピック・パラリンピックについては開催が1年延期されたため、聖火リレーの実施や機運醸成のため、各種団体と連携を図った。</p>		
今後の課題 方向性	<p>下田市体育協会の加盟団体は、競技人口の多いスポーツが主となっているため、今後はマイナースポーツの振興についても積極的に支援していきたい。 スポーツ振興部門の地域おこし協力隊を任用し、新たな目線でスポーツ振興を図っていきたい。</p>		
教育委員会 評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>市民が気軽にスポーツに親しめるよう、各団体と連携を図り様々な競技の振興を進めていきたい。</p>		

## 6 有識者委員会

下田市教育委員会の点検・評価に対する学識経験者等による知見の活用については、令和3年10月29日に下田市教育委員会の点検評価に関する有識者委員会を開催しました。

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	原 和 秀	学校関係者 (元学校長)
副 委 員 長	高 寺 輝 行	学校関係者 (元学校長)
委 員	佐 野 晃 一	学識経験者 (公認会計士)
委 員	横 山 静 子	学識経験者 (下田市女性の会)

## 7 有識者委員会の意見

令和2年度事業の点検評価は、下田市教育大綱に位置付けられた6つの目標のうち、教育委員会の内部評価を経た37事業について実施しました。

教育委員会の内部評価のうち、37事業中3事業が、A評価「十分成果が上がって良好に行われている」、31事業がB評価「成果が上がって概ね良好に行われている」、3事業がC評価「成果が十分に上がっておらず改善が必要」と評価されました。

点検評価に際しては、下田市教育委員会から提出された自己点検・評価シート、主要な施策の成果等の資料を基に担当課長及び係長からの説明並びに教育委員からの補足説明を聴取し、質疑応答を行いました。

令和2年度実施事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響は考慮しない評価を行ったとの説明には違和感もありましたが、有識者委員会としては、各事業の点検・評価シートにおいて、各事業について高く評価する点や今後の改善が期待される点などを指摘しました。

また、令和元年度実施事業でC評価であった事業についてもB評価に改善された事業もあり、指摘された事項についても令和3年度当初予算には反映されてはいませんでしたが、補正予算で対応したと説明があった事業もあり、全体的には概ね良好な実施状況であるとして評価しました。

なお、委員からは評価の基準が3段階であることで、詳細な評価が難しいのではないかとの意見もあり、教育委員会からは次年度以降の評価基準の見直しについて検討したいとの回答がありました。

今後も、C評価と判定された事業の改善に努めていただくとともに、下田市教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携の強化を図り、令和3年3月に策定された下田市教育大綱における基本理念である『下田に誇りを持ち、未来を切り拓く志を持った人』の育成に努めていただきたいと思います。

平成27年度版第一次教育大綱に定める6つの目標ごとの質疑応答の要旨は、以下のとおりです。

【目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。】

○ICTを活用した授業実践を行う体制の整備

有識者委員 コロナ禍において、他地域ではオンライン授業等の対策があったようであるが、下田市ではどのような対応を行ったのか。

教育委員会 タブレット端末については、1,257台を整備したとあるが、どのような内容か。タブレット端末は、児童・生徒分、教職員については、小学校は担任、中学校は、教科担任に配備した。

配備完了が令和2年度末であったため、令和2年度は配備だけに留まり、令和3年度に本格的に運用を開始した。

新型コロナウイルス感染症の影響で休業した際は、オンライン授業は行えず、紙ベースのプリントを配布し対応し、健康観察についても教職員が電話で対応した。

有識者委員 タブレット端末を配備するだけでは中々進まない、授業で使用するためのアプリを導入すべきと考えるが、予算確保も含めどのように考えているのか。

教育委員会 今年度中は、無料の体験版を導入し、試験的に授業を行っており、令和4年度に使用することとなれば、予算を確保したい。

アプリについても、出来る限り賀茂1市5町で統一したものを導入するために取り組んでいきたい。

有識者委員 賀茂1市5町で統一されたアプリを使用できれば理想的である。

令和4年度に向けて予算確保をお願いしたい。

○特別支援教育の充実

有識者委員 特別支援教育支援員の増員が必要であるとの記載に加え、評価に対するコメントにも市費による支援員等を適切に配置する旨の記載がある。

現状の支援員は19人を配置しているとのことであるが、不足しているのか。予算は確保できるのか。

教育委員会 特別支援教育支援員については、令和3年度当初予算においては、令和2年度と同数の19人の支援員を配置したが、9月補正予算において、学校現場からの要望に応えるため、5人の増員を行った。

有識者委員 学校現場の声を拾い上げ可能な限りの充実をお願いしたい。

○コミュニケーション能力の素地を養う英語教育の充実

有識者委員 玉川大学との連携事業が実施できなかったということもあり、B評価で良いのかという思いがあるが、他の事業が実施できたことでB評価としたのか。

教育委員会 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業については、本来予定していた事業がやむを得ず実施できなかったものとして、評価の対象とはしなかった。

○内と外に開かれた信頼される学校づくりの推進

有識者委員 コロナ禍の中で、教職員は非常に良く対応していると感じている。

中学校で、防災教育の様子を参観する機会があったが、生徒達も一人ひとりの体験発表や、市職員に対して要望を伝えている様子を見て大変感心した。

○感性を磨き、豊かな心を育てる読書活動の充実

有識者委員 令和2年度の評価ではC評価であったが、B評価に改善された要因を説明願いたい。

教育委員会 下田中学校再編整備工事により、下田中学校に新図書館を整備したことに伴い、生徒の読書環境の充実のための新図書館の活用方法を検討する中で、4中学校の蔵書を集約するために学校図書館蔵書管理システムの導入に向け準備を行った。

また、これまで課題とされていた学校司書の増員についても令和3年度に向けて具体的に検討した。

有識者委員 蔵書管理システムを小学校に導入する計画はあるのか。

教育委員会 小学校についても中学校同様導入したい。

有識者委員 児童・生徒の読書環境の充実のため、図書購入費の確保に努めるとともに、蔵書管理システムの小学校への導入も是非願いたい。

○安心・安全な給食を提供する学校給食センターの運営

有識者委員 給食費の徴収については、公会計化となったことにより学校現場にとっては非常にありがたいと聞いている。

また、賄材料費の市費負担、衛生管理、アレルギー対応等も丁寧で素晴らしいと感じている。A評価でよろしいのではないか。

未収金があるからB評価としたのか。

教育委員会 未収金の徴収についての課題があるとの理由でB評価とした。

有識者委員 B評価であっても、A評価に近いものやC評価に近いものもあり、現状の3段階評価では詳細な評価が難しい。

教育委員会 今後は5段階評価についても検討する。

有識者委員 給食費の公平性の観点からも未収金の徴収に努めるとともに、安心・安全でおいしい給食を提供するとともに、給食を通じての食育に努めていただきたい。

○既存学校施設整備

有識者委員 C評価としているが、事業概要を見る限りは、成果が上がっているのではないか。

教育委員会 中学校については統合による整備工事で、成果は上がっているものの、小学校7校については、老朽化が進んでおり、緊急性があるものを優先的に実施しているため、多くの学校要望に対応できていないためにC評価とした。

有識者委員 全ての学校要望に対応することは難しいであろうが、安全・安心な教育環境を確保するため、財源の確保に努めていただきたい。

また、評価に対するコメントにも記載されているように避難所として利用される体育館のトイレの洋式化を推進していただきたい。

○生徒指導が機能する授業の推進

有識者委員 教職員の児童生徒一人ひとりへの関わり方の状況、教職員の多忙化解消のための具体策について教えていただきたい。

教育委員会 令和2年度に策定した「下田市立学校教職員の勤務時間の上限に関する方針」

に基づき、時間外勤務の上限の目安や勤務時間の把握方法を定めており、タイムカードを確認する限り、各校における業務改善の取り組み、校務支援システムの導入等により以前よりは改善され、多少は余裕を持って子ども達と関わる時間が確保できているように思われる。

ここ1～2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども達との接触の制限や休み時間の短縮等もあり、関わり方が難しくなっている。

有識者委員 業務改善に取り組み、働き方改革を推進し、より良い勤務環境を確立することで、教育の質の向上につなげていただきたい。

【目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。】

○幼保再編後の子育て支援の充実と地域との連携

有識者委員 保護者の利用ニーズの変化とあるが、どのように変化しているのか。

教育委員会 令和元年度の幼児教育、保育の無償化及び女性の社会進出等により、幼稚園の利用者が極端に減っている。

令和3年度ではあるが、幼児教育・保育施設の今後のあり方について検討を行っている。

有識者委員 幼児教育、保育施設の運営・活用に当たっては、幼児教育・保育の質の向上、子育て支援の充実に努めていただきたい。

○認定子ども園を核とした施設・環境整備

有識者委員 目標1での既存学校施設整備はC評価とされていたが、幼稚園・保育所施設環境整備はB評価とされている。整備が進んでいるという解釈でよろしいか。

教育委員会 公立施設3園のうち、下田認定子ども園は平成25年度建築、下田保育所、下田幼稚園についても築後30年程度経過してはいるが、緊急性を有する修繕等はなく、現場からの要望に対応できている。

津波浸水想定区域内の下田保育所の安全対策が課題である。

【目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。】

○地域活動への参加や地域との交流を深める機会の充実

有識者委員 青少年海の家は子ども達が活用するにはあまりにも老朽化している。

現状の使用方法と今後の活用についてどのように考えているのか。

教育委員会 現状は、地元区が教育旅行を受け入れているが、老朽化により宿泊はさせていないため、晴天時はグラウンド、雨天時は教室を使用し開校式を行っている程度である。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、教育旅行の受け入れがなかったため、1件のみの利用となった。

現状では青少年海の家としての機能は果たしていない。民間活用も含めて検討した経過もあるが、現状では活用策も決定していない。

【目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。】

○地域の実情に見合った公民館の再編整備

有識者委員 公民館は、中央公民館1館のみを存続させ、他の施設は廃止との方針のようであるが、中央公民館の具体的な活用について、どのような検討がされているのか。

教育委員会 公民館機能は中央公民館1館で、地域の方のサークル、社会教育団体の活動の場は、小さな集まりに関しては、地域の集会場等を利用いただき、多くの方が集まる場合は、中央公民館、文化会館、スポーツセンター等を使用し、活動をお願いしたいとの考え方を持っている。

稲生沢、朝日公民館については、地域の方の活動の場の確保という要望もあるが、まだ決定していない。

朝日公民館に関しては、福祉事務所が中心となり、多世代交流館としての活用を検討している。

有識者委員 中央公民館は現在、教員委員会が事務所として使用しているが、新庁舎の建設に伴い教育委員会も移動する計画となっているのか。

教育委員会 今までの計画では、新庁舎に移る予定であったが、現状では庁舎の方向性も決定していない。

教育委員会が移動した場合は、1階フロアを区分けするなど、団体が使用できるような考えでいたが、正式には決定していないため、庁舎の方針が決定次第、中央公民館のあり方を検討する。

○新たな図書館の建設

有識者委員 図書館建設についても庁舎の建設と関係しているのか。

教育委員会 以前の敷根への建設計画では、庁舎との併設の計画であったが、現在は白紙の状態である。

教育委員会としては、建物の安全性が確保できていないため、早急の方針を決定したいが、市の考え方として、図書館単体で検討するのではなく、例えば、庁舎移転後の跡地利用等、市全体の公共施設のグランドデザインをまとめ、整理したうえで図書館の検討をするということ動いている。グランドデザインが固まった時点で図書館の方向性を決定するものと考えている。

令和元年度に庁内検討委員会で検討した、中心市街地へ建設し、貴重な資料については浸水区域外への保存という方向性で整理したいと考えている。

令和2年度の時点では、新庁舎との合築の計画はない。

教育委員会 生涯学習を推進していくうえで、図書館は重要な施設であり、市民は現在の状況が非常に使いにくいということを認識している。

是非良い方向に向かうように進めてほしい。

【目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。】

質疑なし

【目標6 市民がいつでも気軽にスポーツできるまちづくりを目指します。】

○学校施設の一般開放

有識者委員 中学校統合後の施設の活用について検討したいとの記載がある。  
稲生沢中学校は庁舎建設の関係もあるようだが、稲梓、下田東中学校は解体するという報道もあった。防災の面も考慮すると存続する必要もあると思うが、どのような検討がされているのか。

教育委員会 稲生沢中学校に関しては、取得済みの建設用地と一体的な利用を検討している。

体育館をどのように活用するのか不明であるが、すぐに工事を施工することはないため、当面は生涯学習課で管理する。

稲梓中学校は、起債の関係で校舎は解体することとなるが、体育館は防災面も考慮して活用を検討していきたい。

下田東中学校体育館は既存施設の中では一番新しく、使用しやすいため、社会体育施設として活用していきたい。

○市民が参加できるスポーツイベントの開催

有識者委員 事業概要で予定していた3事業のうち2事業が中止となったが、B評価としたのは、新型コロナウイルス感染症の影響等で中止となった事業については、他事業と同様に、評価の対象として考慮しないという考え方でよろしいか。

教育委員会 同様の考え方によるもの。

## 8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

### (設置)

第1条 下田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

### (組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公示の日から施行する。
- 2 第3条第3項本文の規定にかかわらず、初回の委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

令和3年度(令和2年度実績事業)  
下田市教育委員会自己点検・評価報告書

発行日 令和3年11月

発 行 下田市教育委員会

〒415-0024 静岡県下田市四丁目6番16号

TEL 0558-23-3929 FAX 0558-23-5176

E-Mail s-kyoui@city.shimoda.lg.jp